

あいち農産物生産流通レポート

平成24年1月号

情報サロン		
・菜の花エコプロジェクトの活動について	(食育推進課)	1
地域トピックス		
・花で作る小さな笑顔 ～ 幼児、小学生を対象とした花育を推進しています!～	(海部水産事務所)	2
東日本情報		
・地域振興拠点「道の駅とみうら 琵琶倶楽部」の取り組み	(東京事務所)	3
西日本情報		
・諸外国向けに輸出される食品等の輸出証明書発行について	(食育推進課)	5
フラワーページ		
・花に込めたメッセージ	(愛知県立大学日本文化学部 宮崎真素美)	6
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		7
・名古屋・東京市場における青果物の1月の見通し		8
花 き		
・切花・鉢花の1月の見通し(県内市場)		20
輸出入		
・主要農産物の輸出入実績(2011年10月)		24
関連指数		25

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

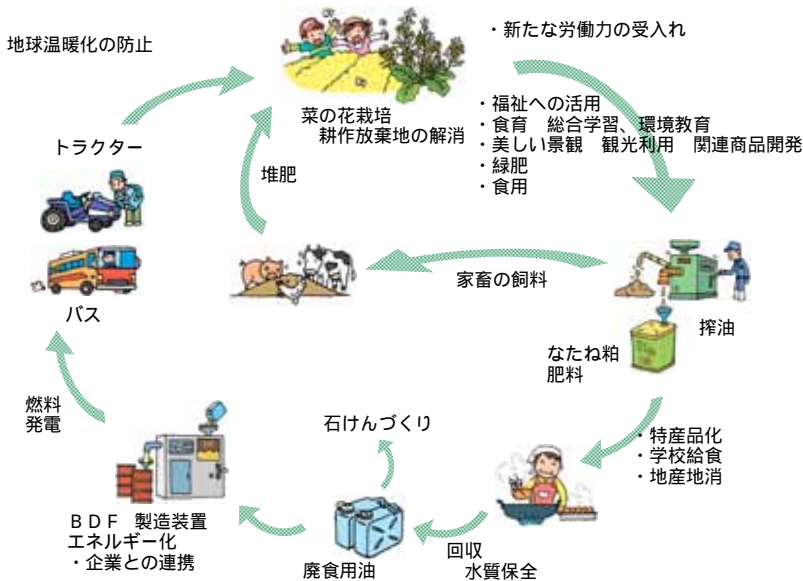
(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6417

菜の花エコプロジェクトの活動について

菜の花エコプロジェクトとは、耕作放棄地等でなたねを栽培し、美しい景観を形成したり、その種からなたね油をとり、なたね粕は肥料や家畜の飼料として活用する、また、その廃食用油をもとにした燃料を利用したりといった、持続的に発展可能な循環型社会を形成しようという試みの一つです。



愛知県では、このプロジェクトを県内に広める取組を平成17年度から進めており、県内で48の団体が、菜の花の栽培や搾油に取り組んでいます。

昨年度は、初めて菜の花を栽培する方々の技術習得を目的に、農業総合試験場において栽培講習会を開催したり、栽培ほ場の見学や搾油工場の見学などを盛り込んだバスツアーを実施しました。

今年度は、県内の活動団体が、情報交換や相互交流ができるよう名簿を作成し、配布をしたり、これまでの農業総合試験場による試験研究の成果をマニュアル化し、関係者に配布する予定です。

また、搾油した菜種の商品化に取り組む団体も増えてきたことから、愛知県版の地産地消の取り組みである「いいともあいち運動」とも連携し、11月にはNPO法人豊田・加茂菜の花エコプロジェクトが、「あいちの農林水産フェア」へ出展をしました。菜種油の販売とともに、菜種の搾油体験も実施することで、多くのお客様に商品の特性や、地産地消の取り組みへの趣旨を理解していただきました。

2月には、2団体が「農商工連携ビジネスフェア」への出展も予定しています。

菜の花エコプロジェクトは、持続可能な循環型社会の構築や地域を活性化するための重要な取り組みです。今後も、県内各地で良好な景観の形成や地域おこしなどを進めるため、関係団体を支援していきたいと考えています。



菜種の搾油体験

花で作る小さな笑顔
～ 幼児、小学生を対象とした花育を推進しています！～

子どもたちに花を身近なものとして感じていただき、将来の花の消費拡大につなげようと、海部苗木花卉生産組合連合会では、花育の取り組みを推進しています。

今年度は、11月6日(日)に弥富市の海南こどもの国で開催された「海南こどもの国秋まつり」では、「花育教室」として、小学生以下のお子さんを対象に、パンジー・ビオラを用いた寄せ植え教室を実施しました。当日は朝から雨の予報であったため、秋まつりの来場者はやや少なかったものの、花育教室には多くの親子に参加していただきました。



寄せ植えに用いる花を選択



寄せ植え風景

教室では、まず子どもたちに好きな色を2種類選択してもらいますが、なかなか決まらない子どもが多く、生産者にアドバイスをもらっている姿も多く見られました。その後、生産者から寄せ植えの作り方を聞いたあと、親子で相談しながら作業を進めていきました。家庭ではなかなかできない体験のため、子どもたちは試行錯誤しながらも楽しそうな表情で寄せ植えに取り組んでいました。

また、今年から新たな取り組みとして、生産者を小学校に派遣し、学校花壇作りのお手伝いを行っています。10月21日(金)には愛西市立田北部小学校で花苗生産者を講師に花の種まきが行われました。生産者が春の花壇を彩る花を紹介し、トレーへ1粒ずつ種をまく方法を説明したあと、生徒は一人一人自分の手で種をまいていきました。



種まきの説明

「子どもたちには、誕生日や卒業式など記念日に花をもらう感動をぜひ味わってほしい。」と語る生産者の話に小学校の先生も大きくうなずいていました。今後は、平成24年1月に苗の移植を予定しており、こうした取り組みがフラワーブラボーコンクール(FBC)の参加につながることを期待しています。

地域振興拠点「道の駅とみうら 枇杷倶楽部」の取り組み

首都圏に駐在する各県の流通担当で構成する在京流通行政連絡会は、11月29日（火）、千葉県南房総市（旧富浦町）にある「道の駅とみうら・枇杷倶楽部」を訪問し、先進事例調査を実施しました。

南房総地域は、年間を通じて温暖な気候に恵まれ、花き、ビワなどの農業を始め、観光、漁業が盛んな地域ですが、バブル経済の終焉とともに経済の衰退と高齢化がすすみました。旧富浦町役場はその打開策として、平成5年、千葉県内で初めての「道の駅とみうら・枇杷倶楽部」（以下、枇杷倶楽部）を開設しました。



道の駅の全景

枇杷倶楽部は、経営的に自立し、かつ地域に貢献することを目標にして、単に駐車場と道路情報だけの休憩施設ではなく、情報発信と地域連携機能を持った地域振興拠点として位置づけ、地域資源を活かした観光振興の仕組み作りをすすめてきました。

その大きな特徴は、観光客の受け皿づくり（ハード）と誘致方法（ソフト）を一体的に整備した点にあります。

受け皿づくりでは、経営コンサルタントの指導のもとで、商品開発、売店経営、カフェ経営などに取り組みました。特に商品開発は、地域資源である「房州ビワ」の規格外品を活用したオリジナル商品を40種類以上開発し、「枇杷倶楽部」ならではの商品を販売することで魅力ある売店づくりをすすめました。規格外品のビワは冷蔵保存した後、自前の加工場で半割、スライス、ピューレなどに一次加工した後、業者に依頼して商品化しています。原料となる規格外品などを通じて、旧富浦町1700世帯のうち4割の世帯と取引が生まれています。



一括受注により町内で食事

誘致方法では、従来の道の駅単体での営業では安定した集客が見込めないことから、一括受発注システムを構築・運用した点にあります。

近隣市町村を含めた小さな資源を束ねて、日帰りバスツアー客を誘致するた

めに、生産者、商工業者と連携して農業体験(ピワ狩り、イチゴ狩り、花摘み)、観光、食事を組み合わせてパッケージ化し、旅行会社に一括して販売することで、「枇杷倶楽部」の経営強化のみならず、地域全体の振興につなげました。現在では、観光バスツアーが年間およそ 2,700 台、ツアー客がおよそ 9 万人訪れるまでになりました。

こうした取り組みの効果として、今まで 7～8 月の海水浴シーズンしか来なかった観光客を年間を通じて誘致することができるようになり、地域経済への波及効果も生まれています。

一方で、「枇杷倶楽部」の来客者数は、平成 13 年をピークに観光バスツアー客の減少などで年々減少傾向が続いており、現在では 60 万人ほどとなっています。消費者の行動パターンが変化したためと考えられますが、今後は自家用車で来る個人客を対象としたサービスの拡充などをさらにすすめることで減少に歯止めをかける必要があるようです。

さて、今回は、初代駅長である加藤文男氏より、「枇杷倶楽部」の立ち上げから現在に至るまでの経緯などを詳しく語っていただきました。町役場職員という行政の立場から地域振興という難題に取り組み、「枇杷倶楽部」という道の駅のビジネスモデルを確立した話は興味深く、また、多くの示唆に富んだものでした。成功事例の裏には必ずキーマンが存在するという事実は間違いのないようです。



ピワ関連商品(ピワジャムなど)

諸外国向けに輸出される食品等の輸出証明書発行について

平成23年3月11日に発生した、東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の事故により、EUをはじめとする諸外国に対し、日本から食品等を輸出する場合、産地証明や日付証明が必要となりました。

輸出証明書の内容

輸出証明書は、貨物番号、貨物の内容及び量、日本の出港地、輸出の目的地（港）、出港日、輸送便名を記載するほか、3月11日以前の製造（収穫）または、放射能汚染の可能性がある地域*での製造（収穫）でないことをチェックする様式となっています（下図参照）。

ただし、放射能汚染の可能性がある地域でも、放射能の検査証明書を添付し、規制値以下であれば、輸出は可能です。

*放射能汚染の可能性がある地域（相手国により指定地域は異なります）

EUの例：福島、群馬、茨城、栃木、宮城、山梨、埼玉、東京、神奈川、静岡

輸出証明が必要な国・地域

EU（27か国）、EFTA（欧州自由貿易連合：4か国）、シンガポール、韓国、マレーシア、タイ、ブラジル、仏領ポリネシア、中国、モロッコの2地域・8か国に輸出する場合証明書が必要です（平成23年12月末現在）。

これまでの証明書の発行

農林水産部では、平成23年4月6日からEU向けの証明書発行事務を開始しましたが、対象国や申請件数が増えたため、5月からは専用の事務室を設け、東海農政局の職員とともに証明書の発行事務を行っています。

現在、農林水産部職員4名、東海農政局職員4名の8名体制で事務にあたり、12月までに2,000件を超える証明書を発行しました。

輸出証明書発行に関する問い合わせ先

愛知県東大手庁舎 3階 309
 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号
 電話：052-961-8050～8053
 Email：shokuiku@pref.aichi.lg.jp

Declaration for the import into the European Union of
*

Batch identification Code Declaration Number

According to the provisions of the Commission Implementing Regulation (EU) No 961/2011 imposing special conditions governing the import of feed and food originating in or consigned from Japan following the accident at the Fukushima nuclear power station the Department of Agriculture, Forestry, and Fisheries, Aichi Prefectural Government/competent authority referred to in Article 2(5):

DECLARES that the (products referred to in Article 1) of this consignment consist of: (description of consignment, product, amount and type of packages, gross or net weight) subpacked at (embarkation place) on (date of embarkation) by (identification of transporter) going to (place and country of destination) which comes from the establishment (name and address of establishment)

has been harvested and/or processed before 11 March 2011

is originating in and consigned from a prefecture other than Fukushima, Gunma, Ibaraki, Tochigi, Miyagi, Nagano, Yamaguchi, Saitama, Tokyo, Chiba, Kanagawa and Shizuoka

is consigned from the prefectures Fukushima, Gunma, Ibaraki, Tochigi, Miyagi, Nagano, Yamaguchi, Saitama, Tokyo, Chiba, Kanagawa and Shizuoka, but not originating in one of these prefectures and has not been exposed to radioactivity during transport.

is originating in the prefectures Fukushima, Gunma, Ibaraki, Tochigi, Miyagi, Nagano, Yamaguchi, Saitama, Tokyo, Chiba, Kanagawa and Shizuoka and has been sampled on (date) in the (name of laboratory), to determine the level of the radionuclides, sodium-22, cesium-134 and cesium-137, and the analytical results are in compliance with the maximum levels referred to in Article 2(3). The analytical report is attached.

Done at Aichi Prefectural Government on Stamp and signature of authorized representative of competent authority referred to in Article 2(5) For the Director-General, Department of Agriculture, Forestry, and Fisheries, Aichi Prefectural Government

..... (Signature)
 *Product and country of origin.

Part to be completed by the competent authority at the border inspection post or designated point of entry

The consignment has been accepted to be presented to the custom authorities for release for free circulation in the European Union

The consignment has NOT been accepted to be presented to the custom authorities for release for free circulation in the European Union

..... (Competent authority, Member State)

Date Stamp Signature

輸出証明書の様式（EU向け）

花に込めたメッセージ

「花束とともにプロポーズしたあの夜。あれから 10 年。あなたを人生のパートナーと決めたこと、あの時あなたに贈った花の色、自分の選択はどちらも正しかったと今、確信しています。」

10 年の歳月のなかでの力強い確信、そして、それを甘やかに包んでくれる花の優しさ。34 歳の男性が奥様に宛てたメッセージです。

今回で 4 回目を迎えた「花に込めたメッセージ」は、平成 20 年、当時の農林水産部園芸農産課花きグループのご担当であった原理恵さんの発案で、当初は 1 年限りの企画として立ち上げられました。そして、私が選考委員長をお引き受けしたのも、その原さんの熱意と、100 文字のメッセージとともに花を贈るといふ、美しく温かな企画の趣旨に共感したからでした。

初年度は、フラワーブラボーコンクールへの参加をしている小中学生を中心に、一般の方をふくめて 890 点の応募がありました。お父さんお母さんへの感謝、離れて暮らすお祖父ちゃんお祖母ちゃんへの思い、子供への励まし、大好きな先生へのお礼、恋の告白、病と闘う友人への励まし、看病に明け暮れる身内へのいたわり、そして、ふだん口にできない最愛の伴侶への想い——。100 文字に込められたひとつひとつの心模様に、目頭を熱くし、うなずき、微笑し、私たち審査委員は、こういった心のありように立ち会う機会を与えられた喜びと、それらを選考の対象としなければならない戸惑いとに揺れました。そしてまた、人のやわらかな心が花とともに届けられるという、優しく潤いに満ちたこの機会を、さらに多くの人に知ってもらいたい、という強い希望も委員全員が共有したのでした。

企画継続の念願が叶い、迎えた 4 回目。今回は東日本大震災被災地へのメッセージをふくんだ 1148 点が寄せられました。冒頭で紹介したメッセージをはじめ、思いやりにあふれた、たくさんの美しい心によって彩られました。それはまた、「あの時あなたに贈った花の色」として、多くの人の心のなかで匂やかに咲き続けてゆくのだらうと思います。

愛知県が過去 48 年間にわたって、花の生産日本一を誇る「花の王国」であることを、県民のどれほどの人がご存知でしょうか。県内のあらゆる場所で、日々、精魂込められた花々が咲き誇っている美しい土地。その美しさは、花を育てる人、与える人、求める人、贈られる人、花に関わるそれぞれの心が寄せられることで、いっそう深められてゆくものなのでしょう。9 月のお彼岸には、「夏のあゆみ」と名づけられた愛知の菊 500 本が、869 のメッセージとともに宮城県多賀城市へ届けられました。ふっくらとした黄花に込められた愛知の人の心が、恢復への祈りとして抱き続けられることを願ってやみません。

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ±2%台以内
 や や : ±3～5%台
 かなり : ±6～15%台
 大 幅 : ±16%以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：小松菜）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
23年実績	1609	563 (35%)	338	275	岐阜 (26%) 群馬 (17%)
24年見通し	1570	—	300	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>あま市、大治町を始め海部地区を中心に入荷。</p> <p>9、10月の大雨を除いては生育に適した天候であった。入荷量は前年と比べてやや減少するが、野菜全般の価格が下がってきているため、価格は前年の1割安の見込み。</p>			<p>愛知以外の主な産地は岐阜、群馬、徳島などだが、小松菜を含めた野菜全般の消費が減少してきており、年々作付面積は減少し続けている。</p> <p>品種は楽天、最近では浜美2号が多い。</p> <p>消費拡大や販売促進のためには、安定出荷とある程度のロットの確保をお願いしたい。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：セルリー）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
23年実績	829	117 (14%)	193	180	静岡 (55%) 福岡 (16%) 茨城 (5%)
24年見通し	830	120 —	195	185 —	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>静岡が入荷の5割以上を占め、福岡、愛知がそれに続く。静岡は作柄は、このところの冷え込みにより遅れ気味で推移している。遅れた荷物が年明け1月上旬に集中しての出荷が予想される。中下旬は平年並の見込み。本県産についてもハウス栽培も現況出始めており年明けより出荷本番となり、品質についても良好となる見込み。入荷量は前年並で、価格は前年並の見込み。</p>			<p>適期収穫や温度管理による品質保持を徹底して行われており、愛知産の形状や品質には大きな問題はないが日により入荷量が安定しない。日量格差のない安定した出荷が望まれる。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の1月の見通し

名古屋市中央卸売市場

12月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地(%) (愛知産比率)			
				上旬	中旬	下旬	
野菜計	19年	33,666	191	233	180	179	愛知 29%
	20年	32,356	186	218	172	181	北海道 21%
	21年	32,270	210	231	200	204	茨城 6%
	22年	29,155	221	235	218	215	静岡 5%
	23年	35,413	197	199	192	201	
	5カ年平均	32,572	201	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	35,200	183	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主な産地は愛知、北海道。だいこんやにんじんなど、重量野菜を中心に価格が下がっている。全体的に加工野菜や、輸入物の需要が増えている。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。							
だいこん	19年	2,066	45	68	36	40	静岡 48%
	20年	2,032	47	58	41	46	徳島 16%
	21年	2,103	69	60	70	74	千葉 12%
	22年	1,707	76	82	75	74	神奈川 8%
	23年	1,855	62	53	57	70	
	5カ年平均	1,953	59	64	55	60	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,800	60	60	60	60	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主な産地は静岡、徳島、千葉。静岡や徳島は作付面積が減少している。生育はどの産地も順調。単価安は今後も継続する見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。							
にんじん	19年	2,887	59	72	64	49	愛知 84%
	20年	2,538	82	101	87	72	鹿児島 7%
	21年	2,325	104	108	106	101	千葉 4%
	22年	2,098	79	89	80	73	北海道 3%
	23年	2,066	114	114	109	120	
	5カ年平均	2,382	86	95	88	81	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	2,000	110	110	110	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主な産地は愛知、鹿児島。秋の台風で播種が遅れ、生育が遅れているため、年明けから本格的な出荷が始まる見込み。玉はL中心で今後は2Lも増えてくる。 入荷量、価格ともに前年をやや下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

12月20日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	19年	121,416	209	244	197	198	千葉 19%
	20年	123,082	203	225	187	203	茨城 15%
	21年	124,017	226	242	215	222	北海道 9%
	22年	117,517	236	246	226	237	愛知 7%
	23年	116,467	228	238	220	231	(愛知産比率 7%)
	5ヵ年平均	120,500	220	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	118,000	220	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
前月に引き続き関東産地からの入荷が中心で、土物類は北海道からの入荷となる。土物類は昨年の不作から今年は平年並みの状況となっているが、12月に入ってから冷え込みの影響を受けての入荷減となる品目も出てきている。入荷量は前年をわずかに上回り、価格はやや下回る見込み。							
だいこん	19年	12,150	53	71	46	48	神奈川 55%
	20年	12,958	53	59	50	51	千葉 37%
	21年	12,908	67	57	67	76	徳島 4%
	22年	12,282	81	84	77	81	静岡 1%
	23年	12,791	59	54	53	67	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	12,618	63	65	59	65	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	12,600	65	65	60	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
関東産地からの入荷が中心となる。神奈川は降雨による葉の折れ等も散見されるが、総じて作柄は良好現在、千葉も生育順調ではあるが、やや先進傾向で年明け一時に出荷の谷がある。入荷量は前年をわずかに下回り、価格はかなり上回る。							
にんじん	19年	7,714	64	73	66	58	千葉 78%
	20年	7,332	96	100	95	95	埼玉 9%
	21年	7,000	114	119	115	111	茨城 4%
	22年	7,490	77	86	78	73	中国 2%
	23年	6,617	138	142	138	139	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	7,231	96	103	97	94	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	7,800	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
千葉を中心に関東産地からの入荷となる。千葉は昨年から一転し豊作型で推移しており、年明け後も順調な出荷が見込まれる。埼玉も同様な傾向で、2Lサイズ以上の太物の発生が多い。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る。							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	19年	2,938	52	67	46	47	愛知 46% 茨城 32% 兵庫 9%
	20年	2,867	56	63	48	60	
	21年	3,073	74	74	69	78	
	22年	2,430	61	61	61	61	
	23年	2,718	61	63	59	61	
	5ヵ年平均	2,805	61	66	57	62	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	2,500	60	60	60	60		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>主な産地は愛知、茨城。どの産地も生育は良好。12月の出荷が遅れていたため、1月へずれ込む見込み。消費に冷え込みが見られるため、鍋料理や漬け物需要が増えることを期待したい。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並みの見込み。</p>							
キャベツ	19年	3,142	45	50	44	44	愛知 87% 茨城 9% 鹿児島 2%
	20年	3,100	64	72	55	66	
	21年	2,805	119	117	120	118	
	22年	2,491	92	74	92	105	
	23年	2,518	101	82	104	110	
	5ヵ年平均	2,811	82	78	81	86	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	2,500	85	85	85	85		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>主な産地は愛知、茨城。愛知では、知多や渥美地域で春系のキャベツが出始めている。生育、作況ともに順調で、甘めのものが多い。10月から11月の出荷が多かったため、12月は少し減る見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
ほうれんそう	19年	432	378	431	363	366	愛知 78% 群馬 8% 福岡 5% 0 0%
	20年	506	257	233	208	324	
	21年	399	434	449	443	418	
	22年	378	509	533	506	497	
	23年	310	485	380	525	505	
	5ヵ年平均	405	400	396	391	411	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
24年見通し	300	500	500	500	500		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>主な産地は愛知、群馬。生育は順調。どの産地も高齢化が進んでいるため、今後出荷が減る可能性がある。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	19年	12,674	27	37	25	23	茨城 86%
	20年	12,535	38	40	34	39	群馬 9%
	21年	12,889	54	53	52	58	兵庫 3%
	22年	12,524	36	34	37	38	埼玉 1%
	23年	12,397	48	50	47	49	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均 24年見通し	12,604 12,800	41 40	43 40	39 40	41 40	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き茨城からの入荷が中心で、一部、群馬からの入荷も増えてくる。茨城の生育は暖秋、暖冬の流れて年明けも順調な出荷が見込まれる。寒さが増せば需要増も期待できる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
キャベツ	19年	13,086	52	51	52	52	愛知 60%
	20年	13,372	64	66	58	68	千葉 22%
	21年	13,314	111	103	116	112	神奈川 12%
	22年	12,518	102	83	105	113	茨城 5%
	23年	12,623	104	85	106	113	(愛知産比率 60%)
	5ヵ年平均 24年見通し	12,983 12,600	86 95	78 90	87 95	91 100	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知と千葉、神奈川からの入荷が中心となる。愛知の生育は順調できていたがここに来て、当月出荷のものについては台風の15号の影響を受けたもののお出しとなり玉伸びがやや鈍い。入荷量は前年並み、価格はかなり下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	19年	1,979	384	428	395	347	群馬 29%
	20年	1,932	338	383	292	352	千葉 22%
	21年	1,905	384	391	382	380	埼玉 20%
	22年	1,721	507	551	491	490	茨城 20%
	23年	1,514	485	451	480	510	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均 24年見通し	1,810 1,520	414 500	438 530	403 500	409 470	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷でほぼ全量を占める。各産地とも前進気味できていたが12月に入ってからの冷え込みでやや伸びが止まってきた状態。年明けに出荷の谷間が予想される。 入荷量は少なかった前年並で、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	19年	1,033	277	368	271	236	愛知 22% 静岡 19% 大分 19% 群馬 12%
	20年	1,037	337	426	300	322	
	21年	1,126	340	390	329	314	
	22年	1,138	359	435	341	320	
	23年	1,012	387	439	370	377	
5カ年平均	1,069	340	412	322	314	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
24年見通し	1,100	350	400	350	330		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主な産地は、長ネギは愛知、白ネギは静岡、大分が中心。昨年は雪の影響で生育が良くなかったが、今年も雪が降らなければ、作柄も良好となる見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							
し タ	19年	1,733	218	231	207	219	兵庫 43% 愛知 25% 静岡 14% 熊本 7%
	20年	1,782	157	158	143	170	
	21年	1,516	276	308	256	268	
	22年	1,433	266	251	264	281	
	23年	1,163	243	184	233	298	
5カ年平均	1,525	228	226	216	241	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
24年見通し	1,400	230	230	230	230		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主な産地は兵庫、愛知、静岡。冷え込みが強いため、大玉が少なく、MやSサイズが多い。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年をやや下回る見込み。							
き ゆ	19年	1,318	453	477	440	443	愛知 49% 宮崎 21% 高知 17% 鹿児島 12%
	20年	1,245	452	393	392	575	
	21年	2,316	221	166	233	276	
	22年	1,277	327	278	345	357	
	23年	1,226	334	338	321	345	
5カ年平均	1,476	338	308	331	382	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
24年見通し	1,250	360	350	350	380		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
主な産地は愛知、宮崎、高知。12月は気温が低く、花があまり付かなかったため、1月に入荷がずれ込む見込み。 入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	19年	5,498	176	253	157	149	千葉 35%
	20年	5,367	229	275	210	218	埼玉 23%
	21年	5,628	203	242	188	186	茨城 16%
	22年	5,164	269	319	260	242	群馬 11%
	23年	5,097	257	305	247	241	(愛知産比率 0%)
ぎ	5カ年平均	5,351	226	278	211	206	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	4,900	205	220	205	190	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		千葉、埼玉を中心とする関東産地からの入荷が中心となる。千葉、埼玉とも生育は良好であるが、安値基調の中で産地の出荷意欲が減退している状況となっている。 入荷量は前年をやや下回る見込みで、価格は前年を大幅に下回る。					
し た ス	19年	7,866	210	223	200	207	静岡 32%
	20年	8,475	147	153	130	158	兵庫 13%
	21年	7,250	274	299	258	266	香川 10%
	22年	6,752	276	264	276	285	長崎 10%
	23年	6,327	234	186	225	284	(愛知産比率 5%)
ス	5カ年平均	7,334	224	223	214	235	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	6,250	270	260	280	270	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		前月に引き続き静岡、香川、兵庫からの入荷が中心となる。現況、静岡、兵庫は秋口の前進化、12月の冷え込みでもものが少ない状態で年明けも品薄感が続く見込み。入荷量は少なかった前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。					
き ゆ う り	19年	4,699	499	563	483	461	宮崎 33%
	20年	4,612	466	418	417	557	千葉 24%
	21年	5,455	365	345	347	402	高知 20%
	22年	5,463	345	310	361	363	茨城 10%
	23年	5,181	349	353	346	349	(愛知産比率 0%)
り	5カ年平均	5,082	401	393	388	422	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	4,900	350	360	340	350	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		西南暖地と関東産地からの入荷が中心となる。宮崎はこのところの晴天で肥大も進んでいる。千葉は根張りの状態が今ひとつで出荷量が少ない状態が続く。高知も作柄回復。生育は順調である。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並の見込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	19年	407	646	487	711	784	宮崎 47%
	20年	392	488	376	494	594	鹿児島 40%
	21年	416	573	475	586	673	高知 13%
	22年	359	638	475	702	714	
	23年	441	490	321	493	619	(愛知産比率 0%)
マ	5カ年平均	403	565	424	594	676	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	400	550	450	600	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は宮崎、鹿児島、高知が中心。12月前半から、入荷量が潤沢になり始めた。 入荷量は高かった前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ばれいしょ	19年	3,239	107	112	106	107	北海道 46%
	20年	2,843	90	91	87	92	長崎 37%
	21年	2,964	97	97	100	94	鹿児島 17%
	22年	2,586	128	128	131	125	
	23年	2,686	137	141	139	135	(愛知産比率 0%)
い	5カ年平均	2,864	111	113	112	110	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	2,800	95	95	95	95	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は北海道、長崎、鹿児島。北海道は貯蔵物が多く、鹿児島は抑制栽培ものが多い。これまでに比べて、スーパーなどでは長崎や鹿児島産の売り場面積が増えている。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	19年	4,811	85	87	92	79	北海道 83%
	20年	4,484	72	76	70	73	アメリカ 14%
	21年	5,040	72	68	72	75	静岡 1%
	22年	4,460	106	105	109	104	中国 1%
	23年	4,350	119	107	132	114	
ね	5カ年平均	4,629	90	88	94	88	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	4,300	85	85	85	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は北海道、アメリカ。北海道産は1月6日から出荷が始まり、4日から静岡産の新玉の出荷が始まる。ここ2、3年は高値だったが、今年は安値で推移している。 入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	18年	1,310	702	557	726	832	宮崎 44%
	19年	1,250	597	425	538	838	高知 21%
	20年	1,291	624	505	637	725	茨城 17%
	21年	1,251	661	510	750	697	鹿児島 17%
	22年	1,306	527	345	549	638	(愛知産比率 -%)
マン	5カ年平均	1,282	622	468	640	746	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	23年見通し	1,240	600	550	600	650	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		西南暖地からの入荷が中心となる。主力の宮崎は11月の曇雨天で樹の状態が弱く着花・着果不良等も散見される。高知も同様の状態である。茨城は作付けの減少が見られる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は大幅に上回る見込み。					
ばれいしょ	19年	7,176	118	120	119	117	北海道 56%
	20年	8,214	93	99	94	91	長崎 31%
	21年	8,207	106	106	107	106	鹿児島 13%
	22年	7,524	138	135	139	138	
	23年	7,814	145	146	145	144	(愛知産比率 0%)
いしょ	5カ年平均	7,787	119	121	120	119	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	8,250	110	110	110	110	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		北海道、長崎からの入荷が中心となる。北海道は貯蔵物が主力となり、今年は昨年に比べて大玉傾向であるが、年明け後は市況を眺めながらの出荷体制となる。長崎は平年作が見込まれている。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高値の前年を大幅に下回る見込み。					
たまねぎ	19年	8,524	96	90	96	99	北海道 73%
	20年	8,203	81	79	80	82	米国 18%
	21年	9,596	78	77	76	80	中国 4%
	22年	8,145	127	121	123	135	静岡 4%
	23年	7,530	143	136	144	145	(愛知産比率 0%)
ねぎ	5カ年平均	8,400	103	99	102	107	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	7,950	95	95	95	95	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		北海道中心の入荷が続く、中心産地の作柄が平年レベルになっていることから、ばれいしょ同様、需要にあわせての計画出荷がなされる見込み。静岡の新物も年明けから始まる。 入荷量は、少なかった前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	19年	506	339	272	347	399	愛知 55%
	20年	485	317	281	294	388	熊本 42%
	21年	453	362	316	360	412	高知 3%
	22年	448	331	256	354	393	鹿児島 0%
	23年	450	358	321	376	364	
	5ヵ年平均	468	341	289	345	391	
24年見通し	450	350	350	350	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は愛知、熊本。年明けは入荷が減るが、その後回復していく見込み。他の果菜類に比べて、生育も順調。 入荷量は前年並みで、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
ト マ ト	19年	972	274	201	283	332	熊本 44%
	20年	918	277	249	272	306	愛知 31%
	21年	859	331	329	334	329	三重 2%
	22年	765	325	262	332	372	岐阜 6%
	23年	891	308	339	323	272	
	5ヵ年平均	881	301	274	307	321	
24年見通し	800	320	300	320	350	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は熊本、愛知。1月下旬以降は入荷量が減る見込み。S玉が多いが、着果は良好。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	19年	260	552	451	555	659	熊本 51%
	20年	286	471	445	459	505	愛知 36%
	21年	250	587	570	548	643	和歌山 10%
	22年	268	643	567	634	725	
	23年	313	536	480	537	582	
	5ヵ年平均	276	556	501	545	620	
24年見通し	290	550	550	550	550	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は熊本、愛知、和歌山。年内の天候が良くなかったため、出荷に遅れがみられたが、1月以降は回復する見込み。着果は良好。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>					

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	19年	2,140	384	306	393	456	高知 66%
	20年	2,153	372	322	332	467	福岡 17%
	21年	1,996	415	367	414	467	佐賀 5%
	22年	1,907	406	299	449	479	熊本 1%
	23年	2,080	374	354	381	374	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	2,055	390	330	392	448	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,950	400	400	400		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地からの入荷が中心となる。高知は11月の日照不足の影響が大きく作柄は良くない。福岡も同様で花付きも少ないうえ12月の冷え込みで出荷量も少ない見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ト マ ト	19年	5,423	277	215	288	332	熊本 44%
	20年	5,109	298	260	305	332	栃木 21%
	21年	4,579	388	397	385	381	静岡 17%
	22年	4,581	362	293	373	417	千葉 17%
	23年	4,970	354	381	372	354	(愛知産比率 17%)
	5ヵ年平均	4,932	333	306	342	361	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	4,700	360	380	360	340	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、栃木からの入荷が中心となる。熊本は病害発生と天候不順に見舞われ、着果不良も散見される。愛知は作付けは前年並で着果状況、色回り順調であるが段数の切り替わり有り。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	19年	1,026	522	428	506	646	熊本 37%
	20年	1,058	491	473	470	529	愛知 22%
	21年	1,041	586	574	550	634	千葉 12%
	22年	1,058	647	578	639	718	宮崎 12%
	23年	1,279	492	446	481	545	(愛知産比率 22%)
	5ヵ年平均	1,092	545	498	527	611	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	1,200	570	570	570	570	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に引き続き熊本、愛知からの入荷が中心となる。熊本は産地により増減があり、生育は総体的にやや遅れ気味。愛知は12月末のものが1月にずれ込み出荷量は多くなる。入荷量は多かった前年をやや下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量		卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
				上旬	中旬	下旬		
果 実 計	19年	10,541	366	398	354	358	フィリピン	18%
	20年	10,776	277	320	262	263	静岡	18%
	21年	10,486	316	357	299	300	青森	16%
	22年	9,777	283	307	268	281	愛知	15%
	23年	12,335	322	290	326	352		
	5カ年平均	10,783	313	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	24年見通し	12,800	270	-	-	-		
<p>主な産地は静岡、青森、愛知。夏から秋にかけて気温が高かったため、どの果実も入荷が前倒し傾向となり、単価安となった。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>								
み か ん	19年	2,842	304	299	311	298	静岡	66%
	20年	3,563	123	141	109	123	愛知	18%
	21年	2,953	249	258	244	245	和歌山	8%
	22年	2,789	163	172	152	164	長崎	3%
	23年	2,333	304	280	305	320		
	5カ年平均	2,896	221	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	24年見通し	2,500	200	200	200	20		
<p>産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し</p> <p>主な産地は静岡、愛知、和歌山。今年は表作で、どの産地も2L以上の大玉傾向のため、単価が下がりそう。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>								
い ち ご	19年	976	1,243	1,304	1,176	1,244	愛知	60%
	20年	888	1,179	1,274	1,086	1,164	熊本	17%
	21年	1,010	1,064	1,163	910	1,092	三重	9%
	22年	890	1,054	1,141	996	1,033	鹿児島	6%
	23年	794	1,225	1,343	1,187	1,173		
	5カ年平均	912	1,151	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	24年見通し	850	1,100	1,200	1,000	1,000		
<p>産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し</p> <p>主な産地は愛知、熊本。秋の台風の影響が一部に残っている。その後の天候は良かったので、12月の数量が増えた。震災の影響で、関東産の業務用の需要がつかめない。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>								

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	19年	37,958	405	476	374	400	静岡 18%
	20年	40,636	316	409	300	281	愛媛 14%
	21年	42,156	339	382	320	323	青森 13%
	22年	43,037	297	340	278	289	フィリピン 11%
	23年	36,153	394	436	370	386	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	39,988	338	-	-	-	前年及び本年の
	24年見通し	40,000	320	-	-	-	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>みかん中心にりんご、いちごなどが入荷する。中旬以降は「不知火」などの中晩柑がこれに加わる。みかん類は、不作だった昨年を上回る入荷。りんごは貯蔵物で、年内よりやや小玉果が出回る見込み。全体の入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
みかん	19年	13,883	305	295	312	301	静岡 39%
	20年	17,418	150	168	144	146	和歌山 10%
	21年	15,641	235	235	232	239	長崎 12%
	22年	17,234	165	171	159	167	愛媛 9%
	23年	12,837	310	285	306	328	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	15,403	225	225	223	228	前年及び本年の
	24年見通し	15,500	180	200	170	170	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>「普通みかん」主力となり、静岡、和歌山、長崎、愛媛などから入荷する。静岡、長崎の「青島」は玉伸び良好で食味も高く仕上がっている。愛媛産の早生みかんも玉伸びは順調で酸抜けも進んでいる。入荷量は少なかった前年を大幅に上回り価格は前年を大幅に下回ると見込まれる。</p>					
いちご	19年	4,184	1,274	1,271	1,201	1,263	栃木 40%
	20年	4,126	1,189	1,284	1,093	1,175	福岡 15%
	21年	4,280	1,127	1,189	1,041	1,163	茨城 14%
	22年	4,401	1,053	1,121	1,019	1,020	静岡 8%
	23年	4,017	1,157	1,206	1,130	1,141	(愛知産比率 3%)
	5カ年平均	4,202	1,159	1,213	1,095	1,151	前年及び本年の
	24年見通し	4,200	1,050	1,000	1,000	1,150	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木中心に、福岡、茨城、静岡から入荷する。栃木、静岡は12月上旬の冷えこみで年末～年始にかけてピークがくる見込み。福岡は11月の高温で前進出荷し、年明け以降2番果の玉伸び良く増加する見通し。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回るものと見込まれる。</p>					

切花・鉢花の1月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 12月28日現在）

単位：千本、円/本

品目	実績等	区分	入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
輪 ぎ く	実 績	19年	2,462	54	
		20年	2,460	56	
		21年	2,351	57	
		22年	2,120	59	
		23年	1,706	56	
	5ヶ年平均	2,220	56		
24年見通し	1,800	56			
	概要	愛知、三重、沖縄などから入荷。年末からの冷え込みで、出荷の遅れが見受けられた。その結果年越しになる商品が出荷されそう。しかし、作付はあまり多くないので全体では少なめの入荷となろう。沖縄産は黄菊が中心だが、やはり年明けの作付はあまり多くないのでやや高めで推移しそう。			
小 ぎ く	実 績	19年	1,284	34	
		20年	1,049	28	
		21年	1,130	29	
		22年	1,047	30	
		23年	749	37	
	5ヶ年平均	1,052	31		
24年見通し	1,000	32			
	概要	沖縄産中心の入荷。1月は作付がもともと少ないので全体の数量はあまり多くないと思われる。年末の冷え込みがかなり厳しく出荷自体もやや遅れ気味で推移しそう。下旬あたりからは徐々に安定した出荷が期待できそう。			
カー ネ ー シ ョ ン	実 績	19年	1,151	39	
		20年	926	35	
		21年	980	38	
		22年	939	35	
		23年	963	35	
	5ヶ年平均	992	36		
24年見通し	1,000	35			
	概要	愛知を中心に和歌山、長野等から入荷。全体的に生育は順調に推移し、入荷量は前年並み。作付けがスプレーからスタンダードに移行しているため、スプレーの入荷はやや減少し、1月は動きの良い展開が予想される。			
か す み そ う	実 績	19年	183	76	
		20年	188	61	
		21年	176	69	
		22年	154	83	
		23年	132	85	
	5ヶ年平均	167	74		
24年見通し	140	85			
	概要	和歌山、熊本、高知からの入荷。成人式需要はあるが、全体的に動きは悪い。入荷は前年並みの予想。			

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	19年	322	187	
		20年	322	178	
		21年	263	198	
		22年	250	186	
		23年	278	188	
	5ヶ年平均		287	187	
	24年見通し		300	185	
概要	OHは高知、愛知、静岡、埼玉から入荷。年末から減少し、1月後半まで少ない模様。一般需要は動きが鈍く、業務中心の動き。相場は白中心に平均やや高め。鉄砲、LAは入荷は少ないが動きも悪く、業務の動きに期待したい。				
洋らん	実績	19年	383	90	
		20年	363	85	
		21年	329	93	
		22年	352	79	
		23年	452	71	
	5ヶ年平均		376	83	
	24年見通し		480	75	
概要	高知、徳島、愛知、静岡などと輸入物が入荷。成人式需要を除いては、目立った動きはなく、入荷量が多くない割には苦しい展開になりそう。業務需要の引合いがある程度安定することを期待したい。				
ばら	実績	19年	680	85	
		20年	645	83	
		21年	711	77	
		22年	666	76	
		23年	665	75	
	5ヶ年平均		673	79	
	24年見通し		700	75	
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山等から入荷。年明け早々からブライダル、成人式需要等の引合いにより堅調な動きが見込まれるが、入荷は冷え込み等のより、なかなか大きくは見込めない。				
枝も	実績	19年	1,383	46	
		20年	1,265	50	
		21年	1,269	49	
		22年	1,095	48	
		23年	1,501	42	
	5ヶ年平均		1,303	47	
	24年見通し		1,300	45	
概要	長野を中心に促成の桜、ボケ、雪柳が入荷し、浜松からこでまりの出荷が始まる。前半は成人式需要で促成物の動きは良いが、後半はイベントもなく、稽古需要中心の動きとなる。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
工 力	実 績	19年	35,585	222	
		20年	38,335	207	
		21年	38,496	239	
		22年	30,582	211	
		23年	31,377	213	
	5ヶ年平均		34,875	219	
	24年見通し		36,000	180	
概要	<p>入荷量は、秋の台風や大雨の影響で、やや減少か。開花が遅れぎみになる恐れもあるが、単価は昨年並みか。白花系以外の入荷は、かなり減少すると思われる。 昨年1月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位新潟(29.2%)、2位山梨(28.2%)、3位長野(20.1%)となっている。</p>				
プ ラ ム	実 績	19年	600,516	104	
		20年	647,705	102	
		21年	532,685	105	
		22年	502,370	94	
		23年	446,657	115	
	5ヶ年平均		545,987	104	
	24年見通し		430,000	100	
概要	<p>入荷量は減少か。生産量の減少や経費面から加湿しての早期出荷が少ないことが原因。 昨年1月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(45.8%)、2位埼玉(10.6%)、3位奈良(9.5%)となっている。</p>				
チ ュ ー リ ッ プ	実 績	19年	100,643	203	
		20年	103,661	230	
		21年	100,660	150	
		22年	103,278	162	
		23年	79,148	195	
	5ヶ年平均		97,478	186	
	24年見通し		80,000	160	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。4号鉢を中心に5~7号の花付きと3号鉢ポットの芽出しものとなる。単価は入荷量にも影響するが、厳しそう。 昨年1月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知(48.8%)、2位埼玉(38.1%)、3位奈良(3.3%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	19年	72,176	302	
		20年	62,998	261	
		21年	65,192	265	
		22年	44,920	314	
		23年	57,264	267	
	5ヶ年平均		60,510	281	
	24年見通し		57,000	250	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。単価は上旬のイベント時期は安定するが、中・下旬にかけては、厳しそう。 昨年1月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉（25.3%）、2位愛知（23.0%）、3位栃木（7.8%）となっている。</p>				
マーガレット	実績	19年	46,757	211	
		20年	41,406	196	
		21年	36,732	183	
		22年	37,578	193	
		23年	39,445	179	
	5ヶ年平均		40,384	193	
	24年見通し		39,000	160	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。4号鉢を中心とした品ぞろえとなる。単価は厳しそう。 昨年1月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（40.4%）、2位岐阜（17.5%）、3位埼玉（15.1%）となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	19年	25,204	956	
		20年	24,728	1,654	
		21年	23,737	771	
		22年	19,072	1,066	
		23年	23,830	711	
	5ヶ年平均		23,314	1,032	
	24年見通し		22,000	700	
概要	<p>入荷量は減少か。経費面から昨春に十分な加湿が出来ず、開花遅れが原因か。単価は厳しそう。 昨年1月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知（49.1%）、2位岡山（14.4%）、3位静岡（13.1%）となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2011年)

1 輸入実績

品名	10月						10月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	78,653	115.9	8,164,492	101.3	104	87.4	722,676	122	66,572,212	110	92	89.7
トマト	417	158.3	133,175	154.2	319	97.4	2,389	94	733,379	82	307	87.1
たまねぎ	41,784	127.0	1,227,033	104.4	29	82.2	327,542	130	12,655,130	117	39	90.7
にんにく	1,766	122.6	200,021	59.5	113	48.5	16,254	104	2,922,068	101	180	96.9
ねぎ	5,282	97.7	624,533	100.1	118	102.5	45,677	114	4,361,744	115	95	100.7
ブロッコリー	6,032	120.0	971,142	117.9	161	98.2	34,463	105	5,595,915	101	162	96.2
結球キャベツ	1,940	81.0	50,272	64.3	26	79.4	25,688	157	811,327	134	32	85.2
にんじん・かぶ	8,515	109.8	290,904	99.1	34	90.2	73,583	137	3,297,736	146	45	106.1
ごぼう	4,562	120.8	215,049	78.7	47	65.1	37,686	126	2,836,399	170	75	134.5
えんどう	164	125.2	55,414	100.7	338	80.4	1,735	104	511,239	111	295	107.5
アスパラガス	1,418	88.1	877,974	94.3	619	107.0	10,613	106	5,503,247	109	519	102.9
まつたけ	264	45.7	1,796,499	99.4	6,815	217.4	974	55	5,171,075	93	5,311	169.0
しいたけ	528	119.3	142,094	122.5	269	102.6	4,105	101	1,075,523	104	262	103.3
かぼちゃ	899	54.0	56,382	56.2	63	104.0	91,255	110	5,772,876	103	63	93.9
果実(生鮮・乾燥)	125,480	84.9	14,130,265	79.6	113	93.8	1,584,497	98	184,614,332	97	117	99.1
バナナ	83,779	88.0	5,193,514	86.2	62	98.0	897,221	96	61,118,009	94	68	98.4
パイナップル	11,864	97.2	689,368	93.9	58	96.7	130,904	112	7,741,218	105	59	93.9
レモン	2,803	112.1	267,308	87.8	95	78.4	43,993	105	4,533,091	86	103	81.8
オレンジ	3,908	43.5	361,778	35.0	93	80.5	104,332	101	9,712,678	95	93	93.8
グレープフルーツ	1,344	30.5	140,291	36.7	104	120.4	138,945	92	11,531,609	83	83	90.9
メロン	2,220	76.3	162,228	68.7	73	90.1	27,432	106	2,679,045	105	98	99.0
ぶどう	1,421	126.0	343,706	122.3	242	97.1	11,594	127	2,195,462	134	189	106.1
キウイ	1,791	36.1	580,725	20.4	324	56.6	55,817	91	17,470,831	86	313	94.4
いちご	805	107.9	640,540	108.1	796	100.2	3,055	117	2,446,523	116	801	99.0
切花(生鮮・乾燥)	4,038	108.9	2,856,063	100.8	707	92.6	34,656	99	24,349,506	94	703	95.2
鳥獣肉類	154,949	115.0	67,678,988	120.9	437	105.2	1,546,963	107	674,460,372	109	436	102.7
牛肉(くず肉含む)	43,908	130.8	17,025,581	126.5	388	96.7	424,077	105	172,999,707	106	408	100.7
豚肉(くず肉含む)	69,620	123.8	36,491,372	123.7	524	99.9	657,976	104	345,028,846	104	524	100.0
鶏肉	33,998	88.4	9,361,197	103.0	275	116.6	387,844	112	107,534,670	136	277	122.2
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	153,023	96.7	86,052,093	104.2	562	107.8	1,433,084	99	791,337,394	105	552	106.1
まぐろ類	16,052	77.8	11,199,361	88.1	698	113.3	132,276	73	106,353,418	77	804	104.4
さば・さんま・あじ・いわし	4,590	34.6	863,545	35.8	188	103.4	56,100	79	9,382,327	80	167	101.6

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	2,466	66.8	671,567	61.7	272	92.4	16,133	83	5,218,919	80	323	96.4
うんしゅうみかん	1,044	113.5	86,314	111.2	83	98.0	2,247	193	282,574	142	126	73.7
りんご	924	69.5	375,288	81.7	406	117.4	12,136	82	3,799,760	90	313	109.6
なし	26	31.9	12,705	28.8	489	90.2	174	28	86,705	27	499	98.0
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	293	-	57,796	20.7	197	-	586	-	1,394,734	60	2,378	-
緑茶	206	94.9	410,094	104.4	1,988	110.0	2,040	112	3,970,433	114	1,946	101.2

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成22年 = 100) (愛知県 平成22年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	23年 6月	99.7	93.5	100.9	100.0	100.0
	7月	99.7	95.1	99.9	99.7	100.8
	8月	99.9	93.4	101.3	99.6	101.9
	9月	99.9	101.4	88.8	99.8	101.9
	10月	100.0	111.2	92.2	99.7	100.1
愛 知 県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	23年 6月	99.7	97.4	100.1	103.5	102.7
	7月	99.6	96.2	103.3	101.6	103.7
	8月	99.7	93.4	102.5	102.8	104.4
	9月	99.9	104.7	95.3	105.1	104.6
	10月	100.0	114.4	93.3	102.0	104.1

項目 年月		農業物価指数 (平成17年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
22年平均	22年平均	95.7	98.0	100.7	91.5	98.5
	23年 6月	95.7	86.4	108.3	105.1	103.5
	7月	98.8	86.3	111.9	151.9	101.9
	8月	91.7	86.8	92.5	105.8	101.6
	9月	99.1	90.8	114.7	93.4	101.3
	10月	107.4	97.2	137.3	103.7	99.0

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシカ り」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
22年平均	2,236	158	172	603	419	313	142	314	203	510	615	201	447
23年 6月	1,797	109	194	651	338	401	145	332	204	514	504	172	502
7月	1,812	172	175	675	288	329	152	329	175	537	628	167	516
8月	1,828	106	161	693	308	297	141	354	195	491	566	164	-
9月	1,883	122	212	748	756	267	178	344	210	601	645	193	-
10月	1,987	169	291	759	572	300	217	363	205	628	925	186	-
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
22年平均	604	312	382	143	254	682	603	162	166	326	223	752	479
23年 6月	-	280	354	-	224	733	544	143	159	293	233	818	411
7月	-	278	354	-	219	800	541	146	161	287	224	835	453
8月	-	285	383	-	226	798	542	155	173	294	230	853	436
9月	753	280	382	-	239	734	532	149	165	296	236	862	428
10月	524	272	391	-	225	691	544	158	190	308	229	841	422

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 463
平成24年1月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6417